


8 神守小学校見守り隊（津島市）

地域自主防犯活動活発化促進事業

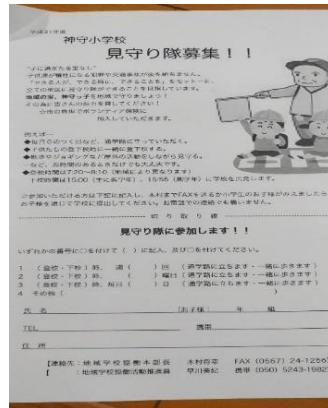
実施結果報告書

1 団体名	神守小学校見守り隊（地域学校協働本部）
2 事業名	神守地区子どもの安全推進事業
3 事業実施結果	<p>1 子どもの見守り活動の体制強化（A事業）</p> <p>本見守り隊の活動区域は神守小学校区であり、児童の登下校時間帯に交通量の多い交差点に立ったり、付き添って歩いたり、隊員が交通安全対策を兼ねた見守り活動を実施している。</p> <p>隊員の増加に伴い、不足が出ている防犯パトロールの資材を新たに整備するため、「神守小学校見守り隊」という書かれた防犯ベストを新規に作成した。</p> <p>また、隊員が所有する自転車の前かごに取り付ける「神守小学校 あんぜんあんしんパトロール」のパネルを作成・配布し、児童の登下校時はもちろん、普段の外出時にも防犯の意識を持てるようにした。隊員の防犯アピールによって、地域ぐるみで見守っているという意識の向上に繋がったと思われる。</p> <p>他にも、隊員が不足している地域や不在地域のために、隊員募集のチラシを作成して配布した。</p> <p>2 子どもとその保護者や地域住民に向けた啓発イベントの企画実施（B事業）</p> <p>（1）防犯教室への参加（10/25）</p> <p>津島市防犯協会神守支部が主催する「防犯教室」が神守支所にて行われ、見守り隊員数名が参加した。</p> <p>津島警察署員の講話とDVDを視聴し、地域の現状を知るとともに防犯意識を高めることができた。</p> 

(2) 地域のイベントへの参加 (10/19)

神守小学校にて毎年実施される「神守小学校区コミュニティ・防災フェスティバル」において、神守小学校見守り隊（地域学校協働本部）のブースを設け、見守り隊募集のチラシ配布と連れ去り防止、交通安全啓発のためのイベントを実施した。

① 見守り隊募集のチラシ配布

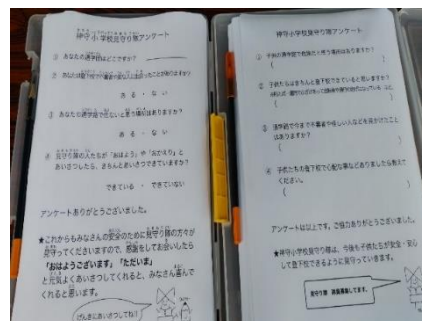


② 連れ去り防止については、子どもを対象に「わるものをさがせ!」というゲーム形式で啓発に努めた。

ペットボトルに見守り隊やみどりのおばさん、『わるもの』の絵を貼り、『わるもの』を見つけてボールで当てて倒すというもの。ゲームを通じて『わるもの』の意識が高まったこと、併設された交通安全のコーナーにも立ち寄ってもらえたという相乗効果があった。



③ 交通安全アンケートを大人用と子ども用の2種類作成し、その場でアンケートに答えた方には啓発品のリフレクターを渡した。大人56枚、子ども70枚を集計し、今後に生かしていく予定である。



アンケート用紙（左：子供用・右：大人用）



アンケート記入の様子

- ④ 「神守小学校区 ヒヤリマップ」「神守小学校見守り隊」のベスト、「神守小学校 あんぜんあんしんパトロール」パネル、見守り隊員用名札を展示し、見守り隊の普及活動を行った。

展示物に興味を示される方も多く、知名度が高まったのではないかと思います。



神守小学校区ヒヤリマップ

自転車の前かご前面に取り付ける「あんしん あんぜんパトロール」パネルを作成し、希望者に配布した。登下校の見守りの際、自転車を利用される方はもちろん、日頃の活動の際にも防犯パトロールの意識を高めていただくことにした。



自転車パトロールパネル



見守り隊ベスト正面



ベスト背面

今回新たに製作した防犯ベストについては、神守小学校のメインキャラクターのカモリーニョを描いたステッカーを背面に取り付けた。

名札には、日頃お世話になっている見守り隊員の方の名前を平仮名で記名することで、1年生にも名前を覚えて親しみをもってもらえるようにした。また、見守り隊員が活動中に迷うことがないように名札の背面に、児童がけがをした場合・不審者を見かけた場合の簡単なマニュアルと緊急の連絡先を記載した。



名札：表 面



裏 面

(3) 商業施設における啓発イベントの開催 (11/27、12/8)

人が多く集まるヤマナカ神守店とアブヤス神守店にて、津島市や防犯協会神守支部、津島警察署、コミュニティ推進協議会と連携を図り、子どもの交通安全の啓発イベントを実施した。同時に、見守り隊募集のチラシと啓発品を配布した。

①ヤマナカ神守店 (11/27 16:00～)



防犯協会と津島警察の方とで買い物を終えて出てきたお客様にチラシと啓発品を配布しているところ。「校区が違うから・・・」とおっしゃられる方も多数みえたが、チラシを手に取り「知り合いに勧める」という声も聞かれた。防犯協会の方も一緒に、見守り隊員募集のチラシを配布してくださった。

②アブヤス神守店 (12/8 15:00～)



神守コミュニティ推進協議会による防犯パトロールに参加させていただき、共同して啓発活動を行った。買い物客は少なかったが、校区内ということもあってか、手に取ってくださるだけでなく話を聞いてくださる方もみえた。

(4) 小学校と連携した啓発活動の実施 (9/2、11/28)

神守小学校にて、講師を招いて親子護身術教室を実施した。

また、3年生を対象に防犯の授業を計画し意識向上を図った。

①親子護身術教室 (9/2 14:00～15:00)

正道会館(空手)善正和會の会長始め4名の講師を招いて、体育館にて実施した。40名(25組)の親子、兄弟が参加し、不審者から回避するための心構えや、いざという時にどう対処したらいいか等、実際に身体を動かしながら親子で学ぶことができた。特に、大声で助けを呼ぶという訓練は、「助けてー！！」と叫びながら走って逃げることの難しさと大切さを痛感した。



親子、友達同士で組み合って護身術を体験



「助けてー！！」と大声を出しながら走る体験



記念撮影

②通学路点検（10/11 15:00～）

見守り隊員と教員、児童と一緒に下校し、各通学路の危険箇所等を点検した。

点検後には、危険箇所の有無や気づいたこと等のアンケートを実施し、今後に活用する予定である。たくさんの見守り隊員に付き添われて下校する、子どもたちの嬉しそうな笑顔が印象的であった。



「さようなら」と挨拶を交わす

③ 3年生防犯教室（11/28 2時間目）

当初は3年生対象の防犯教室として計画していたが、地域の方の学ぶ機会を作ろうということで、見守り隊員と保護者にも参加を呼び掛けた。

津島警察署生活安全課2名を講師に迎え、参加者は3年生約80名と見守り隊、保護者約20名となった。

インターネットの使い方、SNSの危険性について学ぶとともに、既にスマートフォンやキッズ携帯を所持している子どもが多いことがわかった。

また、「つみきおに」と不審者について、実技を交えながら学ぶことができ、「大声を出す」「大人を呼ぶ」「捕まる前に走って逃げる」等再確認することができた。



「つ・み・き・お・に」をみんなで確認



見守り隊員と保護者も多数参加



「逃げられない」体験

4 成果と課題
及び今後の
取組み

(1) 事業実施の成果及び課題

ア 成果

コミュニティのイベントに参加し、神守小学校校区だけでなく近隣の小学校区の方にも「神守小学校見守り隊」の存在を知ってもらい、アンケート調査も実施できた。また、従来のような紙媒体だけでなく、ベストや「登下校安全マップ」を展示したりゲームを行うことで、地域の方々と直接対話ができたと大きな成果である。

他にも、親子護身術教室や防犯教室で学んだことを家庭に持ち帰って、「不審者」の再確認をし、危険回避の方法について話し合うことができた。また、親子で組み合せて護身術の復習をする等、実践的な知識も得ることができた。このように、身の回りの安全安心について再確認するとともに、「見守り隊」を筆頭に地域ぐるみで子どもたちを見守る必要性を実感した。

イ 課題

啓発活動として「見守り隊募集」のチラシを配布したが、反応が皆無のため、必要性を継続的に発信する必要がある。見守り隊空白地域を無くすこと、隊員の後継者の確保が喫緊の課題である。

また、資材の劣化・不足への対応や、勉強会開催等の活動費の捻出も困難である。

(2) 今後の取組み

- ・見守り隊空白地域を無くすため、あらゆる場面で募集をかけて増員を図る。
- ・見守り隊のための勉強会の実施し意識向上を図る。
- ・子どもたちが感謝の気持ちを伝えることができるよう、「見守り隊感謝の会」を開催する。

コミュニティ・防災フェスティバルへの参加は、今年度初の試みであった。地域の方と繋がることができ、「神守小学校地域学校協働本部」「神守小学校見守り隊」の周知を図ることができた。そのため、今後も継続して参加していく予定である。

見守り隊の存在を地域の方に広く知らしめると同時に、保護者という身近な存在に見守り隊の存在意義を伝えていく。保護者に積極的に関わってもらえるよう働きかけていきたい。